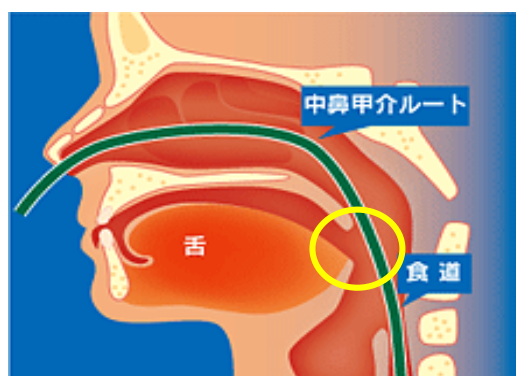


経鼻内視鏡のお知らせ

当院ではこれまで上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)は、主に口から挿入する方法で行ってきました。経鼻内視鏡用の細いカメラ(以下、細径スコープ)は、画面が暗く画質も劣っていたためです。しかし、最新型の細径スコープは、画質が大幅に改良され、通常スコープと同じような精度の高い検査ができるようになりました。

このたび当院でも本格的に経鼻内視鏡検査を導入しました。
初めて胃カメラを受ける方、検査に対する不安が強い方、以前に受けた時に辛かった、という方は経鼻内視鏡をお勧めします。

<経鼻内視鏡>



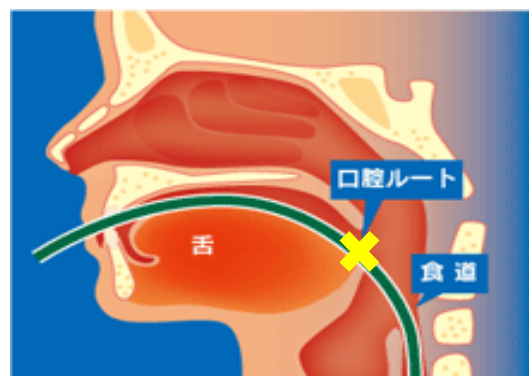
舌の付け根にあたらぬ



細径スコープの太さ約 5 mm

=うどんと同じくらい

<経口内視鏡>



舌の付け根にあたって「おえっ」となりやすい



通常スコープの太さ 9~10 mm

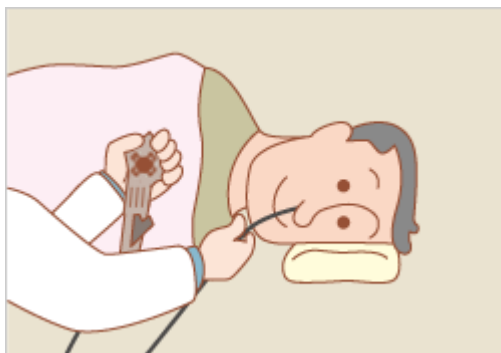
カメラがのどを通る時に、舌の付け根にあたらぬので、嘔吐反射が起きにくく、**楽に検査を受けられます。また、検査中に会話ができます。**

お鼻から入れることに抵抗がある方では「細径スコープを口から挿入する」こともできます。この方法でも、スコープが細くなった分、のどの反射や違和感が軽くなります。実際に、「今までは鎮静剤を使わないと苦しくて検査が受けられなかった。」という方が、細径スコープを使ったら、「鎮静剤を使わなくてもとても楽に受けることができました。」という方もいます。

経鼻内視鏡を希望される方、また、細径スコープを口から挿入する方法を希望される方は、検査予約時に、担当医師にご相談ください。

《経鼻内視鏡の流れ》

- ① 看護師による問診
記入していただいた問診票をもとに、アレルギーの有無などを確認します。
- ② 前処置
 - ・胃の中をきれいにする液状のお薬(ガスコンドロップ[®])をコップ1杯のみます。
 - ・出血予防のため、局所血管拡張剤(プリビナ[®])を鼻にたらしませます。
(点鼻薬といって、目薬のような感じで、鼻にぼたぼたと垂らします。)
 - ・痛みを軽くするため、麻酔のゼリー(キシロカイン[®])をお鼻に注入します。
- ③ 検査
通りの良い方のお鼻から、スコープを挿入して検査します。



- ・検査は5~10分程度でおわります
- ・会話ができます
- ・モニターで検査画面を見ることがもできます

- ④ 検査後
検査後の注意事項を説明し、会計へご案内します。

《よくある質問と答え》

- Q1 鼻血が出たり、鼻の奥を傷つけたりしませんか？
まれに鼻血が出ることがありますが、スコープで見ながら挿入していきますので、鼻の粘膜を傷つけることはほとんどありません。ただ、検査の後、強く鼻をかむと血が出てしまうことがあるので、検査した日は、強くかまないようにしてください。
- Q2 鼻からの内視鏡ができないケースもあるのですか？
あります。鼻の通り道が曲がっている方や狭い方がまれにいます。その場合は通常通り、口から挿入して検査します。
- Q3 鎮静剤を使って経鼻内視鏡を受けることはできますか？
できません。カメラが鼻を通るときに、痛くないか、確認しながら入れていきますので、目が覚めた状態で検査を受けていただきます。また、経鼻内視鏡では、苦痛が軽減されていますので、鎮静剤は必要ないと考えています。